学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校

令和 4 年度 学校関係者評価結果報告書

1. 学校関係者評価委員会の実施

1. 実 施 日: 令和5年8月26日(土)

2. 評 価 者: 鹿児島医療技術専門学校 学校関係者評価委員 15名

3. 議 題:1)令和4年度に定めた重点項目及びその実績報告について

2) 令和 4 年度 自己評価結果について

3)その他

Ⅱ. 評価結果

項目番号	評価項目名称	評価点(平均)
1	教育理念·目標	3.5
2	学校運営	3.9
3	教育活動	3.8
4	学習成果	3.0
5	学生支援	3.6
6	教育環境	3.6
7	学生の受け入れ募集	3.1
8	財務	3.8
9	法令等の遵守	3.7
10	社会貢献·地域貢献	3.5
11	国際交流	3.8

Ⅲ. 評価意見

1. 教育理念·目標

- ・4年課程カリキュラムによる高度専門士の養成は県内唯一の取り組みとして、人材育成の特色をさらに情報発信され入学者増につながると期待します.
- ・職業実践専門課程認定校として、本校の特色を出している。
- ·VR を用いたコロナ対策が評価できる.
- ・コロナ禍においても VR 教育システム活用など工夫がされていると感じました.
- ・理念は学校、企業の顔.学生、保護者にもわかりやすく広報を.
- ・優秀な卒業生を出すには結果を残すこと(国試合格率を高める)、充実した学校生活を送ること。
- ・3 ポリシーの策定が進められていることは評価できると思う。
- ・学生便覧のどこに 3 ポリシーが明記されているか見つけられなかったため、表記としての分かりやすさが必要だと思われる.
- ・4 年制の強みをもっと入れていくと良いと思います.(オーブンキャンパス・学生便覧など)
- ・すべてのデータ化が Push 型(パンフレット、Web ポータル、Web アンケート、バイザー会議)のものしかなく、Pull 型のデータを活かす戦略を入れても良いのではないでしょうか?
- ・4 年課程カリキュラムの強みをもっとアピールしても良いのではないでしょうか.
- ・専門学校としての理念などしっかりしており、学生も安心して勉学に励み、保護者の期待も大きいものがあると感じる.

2. 学校運営

- ・財務についてはデータを用いた意思決定がなされている.
- ローコスト化のために更なる DX 化が求められる。
- ・各委員会の活動もしっかりされており、適切に運営されていると感じました.今後も継続的に取り組んでいただきたいと思います.
- ·各部門が連携して取り組みのオープン化、ネットワーク環境の整備、コミュニケーションツールの活用維持.
- ・ホームページは若年者から高齢者まで見やすい工夫を.
- ・3 ポリシーの策定を全教員で進めていることは、組織運営として評価できると思います.
- ・情報システムを教職員が円滑に活用するスキルやノウハウは内製化していく方針はないのでしょうか?
- ・各手続きの電子化やネットワーク環境の充実に向け継続的に改善がなされています。
- ·コロナ禍で試行錯誤して、地域社会に対する報告会などの場を設定し、責任は十分果たされていると考える.

3. 教育活動

- ・実習指導者会議での意見交換が十分になされている.
- ・指定規則に基いた教育やカリキュラムが整備されている.
- ・ポリシー策定について早期に実施されることが必要.
- ·各学科で国家試験不合格の解消に向けた取り組みの実施や小委員会の設置など指導体制が整っていると 思いました.
- ・国試合格率は受験生の選択に少なからず影響する、特に保護者は合格率の高い学校に行かせたいはず.
- · 先生方の負担も考慮しながらではあるが既卒生の国試合格への配慮もお願いします.

- ・3 ポリシー(特にカリキュラム)と各科目がどのような関係になっているかについて整理がなされているが、学生はどの程度それを理解しているかがエビデンスとしては重要だと思う.
- ・国家試験全員合格を目指して取り組めている。
- ・単位の見直しやカリキュラムの工夫など素晴らしい取り組みもされていると感じます.
- ・令和 4 年度からキャリア教育がカリキュラムに位置付けられたことは大変素晴らしい.
- ・国家資格の合格向上に向けて、全職員一丸となって取り組まれ実績を挙げている.やや合格率は低下したがその対策を踏まえた対策も十分である.

4. 学習成果

- ・卒業生のデータ把握のための仕組みを構築し、4年課程カリキュラムの強みを客観的に評価する方法を検討いただきたい.
- ・高い就職率がキープされていることは評価できる、一方で退学率が高い精神的問題についてはサポート、学習面については分かりやすい講義が求められる.
- ・メンタルに関しては相談窓口がしっかりされており、工夫されていると感じました.相談しにくい学生もいるかと思いますのでメンタルヘルスチェック用紙などの活用などどうでしょうか.
- ·在学中の資格取得、表彰、学会発表の実績は今後も維持してもらいたい.
- ・退学者は昨年度より減少しているが、メンタル面フォローと保護者との連携は強化されたい.
- ・卒業生のキャリア形成等への取り組みの更なる向上に期待したい、特にキャリアセンターの強みを活用すると 良いと考える。
- ・国家試験対策は、最終学年から開始するのではなく、3年から開始するというのは非現実的でしょうか?
- ・退学者の問題は、数値以上に理由が重要だと考えられるため、理由を考えると対応は十分になされているのではないかと思われる.エビデンスとして「理由」も必要ではないか.
- ・退学者は減少したが、学生の為にも何故退学する必要があったのか、因子を明らかにし、次の道標を作っていけると違うのではないか.
- ・国試対策について、更なる検討が必要であると感じた.
- ·卒業生のデータ収集を行い、役立てる事も大事ではないか.
- ・退学率が減少していないところは、気になります.
- ・コロナ禍で大変な状態であるが退学率が減少するなど学科一丸となって取り組まれた成果がうかがわれる.

5. 学生支援

- ・スクールカウンセリングを受けた学生 146 件の相談内容を分析し、今後の学生支援の課題や対応策等提示していただきたい.
- ・国家試験合格率が高い水準である.
- ・学生の健康管理意識は医療者と同レベルであるべき、引き続き徹底した管理が必要.
- ・保護者との連携もしっかりされており、学生支援は十分にされていると感じます。学力低迷者やメンタルに関しては高校生生活時の情報も大事な気がします.
- ・以前、育児中の実習生を何回か受け入れた。家庭環境の厳しい学生には大きな支援をお願いします。
- ・高校生への学校紹介、職種紹介、ガイダンスは大いに行ってもらいたい.特に普通科高校以外のアプローチに期待する.
- ·学生が具体的にどのような支援を効果的だと感じているかに基づいたチェックも必要ではないかと思われる. また、それにどう学ぶかという感覚も教員側に必要ではないか.
- ・ 県大会開催され、 部活動許可していることは、 学生を大事にできていると思いました.
- ・コロナ減もあると思うので、是非、原田カンファレンスを再開して欲しいです.特に経験年数の少ない方々が参加でき、交流が少しでもあると嬉しいです.
- ・スクールカウンセリングが実施され、実績も 146 件とよく利用されています.これらの取り組みが退学率の減少につながるように継続してほしいと思います.
- ・学生自身はもちろんであるが、保護者との連携を密にされ、経済的な支援や健康管理なども一人一人の学生にしっかり目を向けられている.

6. 教育環境

- ・災害備蓄品の見直しがなされたことが評価できる.
- ・引き続きオンラインのニーズが高いことから、ネット環境に異状がないようにする必要がある.
- ・老朽化に関しては、計画的に修繕していただきたいと思います。
- ・素晴らしい学校環境だと思います.(部分的な老朽化は仕方ないかと)
- ・学生がどのような教育環境を求めており、それにどの程度応じることができているかという視点でのエビデンスも必要だと考えられる(すべてに応じることはできないが)
- ・虫の死骸も見受けられた.清掃強化が必要と思われます.
- ・ネットワークの環境が継続的に改善されており、大変良いと思います.
- ・環境的には申し分ないと思う.築年数等を考え計画的な対策を講じている.
- ・地域の避難所としても期待している.

7. 学生の受け入れ募集

- ·募集活動が入学希望者数に結び付いていない、内容の見直しが課題.
- ・学納金は適正であるが、入学者数を増やす必要がある.
- ・ホームページ、パンフレットも大変見やすく分かりやすいと感じました.東谷山周辺地域には小学校、中学校、 高校と多数ありますが、保護者、学生に向けての周知がどれほどされているか気になりました.
- ・オープンキャンパスでは保護者同伴されることを期待.
- · 令和 4 年度資料から、各学科定員割れ、充足率低下は慢性的.定員数の見直しも必要では?(教育環境を維持するには財務面で不安もありますが…)
- ・4 年制としての強みや、実際の学校の取り組みは良い物があるが、それが高校生等に伝わっていない感じを受ける.強みのアピール強化を期待したい.
- ·学校選定における 1 つの選択基準として、指導者の実績が挙げられるのでしょうか?
- ・全国の養成校(大学を除く)と比較し、入学者、退学者の傾向は?
- ・4 年制の強みのアピールがどのようになされているかが気になりました.
- ・入学者数の減少がみられる為、アピール強化しても良いのではないか.
- ・オープンキャンパス、SNS を活用しての募集取り組みは継続して必要であると感じた.
- ・市場調査や学生(保護者)のペルソナ分析を元に、現在のデータで中長期の計画にしてみてはどうでしょうか.
- ・学校のみでなく県士会も一緒に広報や小・中・高校生への ST 周知も考えていければいいなと感じました。
- · 学生が小・中・高校生へ ST は楽しいと伝えられると現学生もモチベーションも上がるのではと考えました.
- ・オープンキャンパスの参加者数が減少したのが気になります.ここ数年減少傾向であれば内容を検討したほうが良いと思います.併せて、広報との連携も.
- ・機会あるごとにオープンキャンパスなど催され、PR 等に努力されている.

8. 財務

- ・貯蓄性は低いものの、設備投資がなされており評価できる.この点をアピールし、リハ系学生の充足に結び付ける必要がある.
- ・長期的にみると、定員数の見直しも必要な気がしました.
- ・カリキュラムの見直し、改正などでは備品調達、ご苦労をお察しいたします.
- ・学生充足率はこれからますます厳しくなっていくため、現在の財務の安定性をいかに保持していくかについて の戦略、取り組みについても知りたいと思いました.

- ・今後の改善方策をたて取り組めている.
- ・会計情報が HP に掲載されており、可視化が図られています.
- ・学生の確保と財政及び学校全体の経営バランスを考慮しながら運営がなされていると感じる。

9. 法令等の遵守

- ・教職員の法令等の遵守が不明瞭である.
- ・適切になされていると思います.
- ・自己評価が HP 等で公表されており、可視化が図られています.
- ・個人情報の管理など大変厳しい時代であり、学生の評価など苦慮されていると思う.

10. 社会貢献·地域貢献

- ・保護者や地域住民の委員の意見からもこの項目は貴校の強みとして、学校内外への情報発信について積極的に取り組んでいただきたい.
- ・令和 5 年度のボランティア活動の準備について、評価・総数としては不十分.
- ・コロナ禍で難しい状況だったと思うが、可能な限り取り組まれていました.
- ・学校、専門教育機関をアピールするための公開講座、公開授業の取り組みは継続してほしい.放射線学科の実績が乏しいこと、配布資料に開催日、時間等も示して頂ければありがたいです.(ST の活動が混んでいますね)
- 適切である。感染状況が落ち着いてきているので、更なる社会貢献・地域貢献に期待したい。
- ・コロナの状況下であることを加味して評価するなら妥当ではないかと思われる。
- ・ボランティア活動の参加ができる事がとても素晴らしいことだと思います.学生の成長にも繋がると思います.
- ・医療系を学ぶ学生として、ボランティア活動等に積極的な学生を育成していただきたい.
- ·コロナ禍でも工夫され、地域貢献された.
- ・数多くの出前講座など積極的にしていた.
- ・学生全員の努力により登下校が良くなった.

11. 国際交流

- ・留学生の補習・支援は十分である.同様に日本人学生の支援が必要.
- ・現在、留学生は何人いらっしゃるのでしょう?
- ・留学生の受け入れ以外の国際貢献の取り組みとして、職員・教員の国際交流やスタッフの利用により、学生が国際的な感覚を持てる環境づくりもありえるかと思います.
- ・医療の人材確保にも繋がると考えます。
- ·留学生の受け入れ体制も整っている.
- ・業界において、今後人材について必要な事であると改めて感じる.
- ·留学生受け入れ体制の整備が進められており、大変良いと思います。
- ・コロナ禍で大変な現状の中で受け入れ体制など十分配慮されている.

以上